

2007年度 早稲田大学 社会科学部

日本史 解答例

I 古代の文化 <標準>

問1ニ 問2高杯(坏) 問3ホ 問4※ 問5ニ
問6ホ 問7イ 問8在原業平 問9ハ 問10イ

※大学当局の発表により、全員正解となる。

問1が難問で、問3・9がやや難しかっただろう。問4は設問文に「飛鳥時代の」という条件がついているところが作問ミスであったため、大学当局は全員正解としたようだ。ただし伽藍配置については、図を用いた問題がよく出題されるが、説明文を使った正誤問題も珍しくない。

II 中世の政治・経済 <やや易>

問1ハ 問2一期分 問3ニ 問4イ 問5ホ
問6使節遵行 問7ホ 問8イ 問9ニ 問10ロ

ひどく単純な誤文が多く、早稲田の正誤問題らしくない。ただし問7では撰銭令の正しい内容を理解しなければならないことがよくわかるだろう。

III 江戸時代の法制度 <易>

問1ニ 問2末期養子 問3ホ 問4ホ 問5イ
問6※ 問7ハ 問8ニ 問9旧里帰農令 問10イ

※大学当局の発表により、全員正解となる。

早稲田定番の問題が目立つ。問7・8でつまづいた人は、それが正解できる学習法とはどういうものかを考えてほしい。文化史を勉強する際に、出題率はもちろんのこと、その語句の意味までつかんでおかなければならないことがわかるだろうか。

Ⅳ 蟹工船・国体明徴声明 <やや易>

問1 小林多喜二 問2 イ 問3 ニ 問4 ハ 問5 ハ

問6 機関 問7 ロ 問8 ハ 問9 ロ 問10 ホ

この大問は難しそうに見えるが、全問正解も不可能ではない問題である。その方法については、「早大日本史の検証」で説明するので、ここでは割愛する。

講評

例年の社会科学部らしい難しさはなかったが、早稲田大の出題傾向に沿った学習をしていたか否かで、点差のつく問題ではあった。